

認知症の理解Ⅱ

担当教員 大石 菜奈美

配当年次 2年

単位区分 選択

開講時期 第1学期

授業形態 講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

1. 認知症高齢者の症状や生活に伴う困難を理解する。
2. 認知症ケアの基本的考え方やケアの実際を理解する。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	認知症の原因疾患と症状を再確認し、その知識を介護に活用することができる
2	認知症の人を生活者の視点から捉え、生活支援の在り方を理解する
3	ワイズマンの3つの環境構成要素を踏まえ、環境による働きかけを工夫することができる
4	生活の独自性・全体性・地域制・継続性を考慮した支援を理解する
5	認知症の人へのかかわり方の基本を理解する
6	認知症の進行に応じた介護を理解する（初期・中期）
7	認知症の進行に応じた介護を理解する（後期・ターミナル期）
8	認知症の人の地域資源や、行政のサポート体制を理解する
9	チームアプローチの事例を通して、認知症の支援に関わる者の役割を理解する
10	介護家族の4つの苦しみを理解し、家族支援に活かすことができる
11	家族へのレスパイトケアの方法を理解し、事例に応じて組み立てることができる
12	エンパワーメントを踏まえた家族支援ができる
13	介護保険制度における認知症対策を理解する
14	グループホームと小規模多機能事業所の役割を理解する
15	認知症の人の望ましい生活を考えることができる（DVD鑑賞）

【履修上の注意事項】

事前にテキストを読んで予習する。講義終了後は、授業内容をノートにまとめる。

【評価方法】

定期試験70%、演習課題30%

【テキスト】

『認知症の理解』中央法規

【参考文献】

進行の中で紹介、資料配布を予定している。